

JAバンクアグリサポート事業の平成 22 年度実施状況等について

標記事業の平成 22 年度実施状況がまとまりましたのでお知らせします。

1. 平成 22 年度実施状況

(1) 利子助成事業

厳しい経営環境に直面する多様な農業の担い手への支援として、JA が融資する農業関連ローンへの利子助成を行うもので、平成 22 年度は、融資案件 61,441 件(前期比+12,727 件)に対し、総額 1,089 百万円(同+251 百万円)の助成金交付を決定いたしました。

(2) 投資事業

変革期にある農業分野および農業・地域社会と密接不可分の関係にある環境分野において、農業振興、環境貢献、社会貢献に積極的に取り組む経営体を支援していくことを目的として、日本アジア投資(株)の 100%子会社 JAIC シードキャピタル(株)が無限責任組合員となり設立された「アグリ・エコサポート投資事業有限責任組合(通称:アグリ・エコファンド)」に、当基金は有限責任組合員として参加しています。

平成 22 年度は、アグリ・エコファンドから新たに 5 社に対して 171 百万円の投資が実行されました。(累計:22 社・956 百万円)

(3) JA バンク食農教育応援事業

JA バンクによる食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子どもの農業に対する理解の深耕を図り、農業ファンの拡大、および地域の発展に貢献することを目的として、以下の取組みを実施いたしました。

a 教材本贈呈事業

食農教育・環境教育・金融経済教育をテーマとする全国の小学校高学年向けのオリジナルの教材本を制作し、JA バンクから約 21 千校の小学校(全国の 97%をカバー)に 137 万セットを贈呈いたしました。

b JA 等による食農教育、環境教育、金融経済教育の教育活動に対する助成事業

全国の JA 等による子どもを対象とした食農教育・環境教育・金融経済教育を共通テーマとする教育活動に対して当基金が費用助成を行うことで、これらの取組みを支援いたしました。

平成 22 年度も、全国の JA 等において活発な取組みが行われ、2,200 件、727 百万円の活動計画が提出されました。このうち、年度内に助成申請を受けた活動に対し 264 百万円を助成いたしました。

(4) JA バンク新規就農応援事業

将来の国内農業における担い手として期待される新規就農希望者(研修生)を育成するための研修を行う研修受入先への取組支援を通じ、新規就農希望者の独立就農を後押しすることにより、地域農業の振興・発展に貢献するものです。

平成 22 年度は、494 件、49 百万円の計画が提出されました。

2. 「農業のちから」の制作

JA 等で取り組まれている JA バンクアグリサポート事業の活動内容を紹介することを目的として、事業紹介誌「農業のちから」を制作いたしました。

以上